

平成29年度事業 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書

施設名：ギャラクシティ（足立区こども未来創造館・足立区西新井文化ホール）
 指定管理者：あだち未来創造ネットワーク

1～5 調整得点合計	得点比率	総合評価
915/1000 点	91.5%	A+

得点比率	評価	評価内容
90% 以上	A+	A 当該分野について、良好である。
80% ～ 89%	A-	
70% ～ 79%	B+	B 当該分野について、適正である。
60% ～ 69%	B-	
50% ～ 59%	C+	C 当該分野について、課題がある。
40% ～ 49%	C-	
39% 以下	D+	D 当該分野について、至急改善が必要である。

評価分野	評価項目	得点	評価分野合計	得点比率	評価(前年度)	得点調整指数※	調整得点	委員会からの意見
1 管理運営体制	利用者が快適に、安心して過ごせる環境づくりの推進	5/6	14 点 (15 満点)	93%	A+ (A-)	1	93 点	<p>施設満足度がリニューアル以来最高値を記録したこと、また大きなクレームや問題がなかったことから、快適・安心に過ごせる環境づくりに向けた取り組みは成功を収めたと判断できる。この原動力となったのは、来館者の属性にともなう環境分析を行い、タイムスケジュールの見直しを図ったことや、子どもの靴の履き違えを減らす工夫を施すなど、利用環境の改善に取り組んだ結果であると考えられる。</p> <p>スタッフのマルチジョブ化を推進したことや、利用状況に応じた運営体制の見直しを図ったことにより、繁忙期に即応できる運営体制となったことは評価できる。また、接客や危機管理、失敗を題材としたロールプレイングなど多様な研修を行って改善を図った結果が館内アンケートのスタッフ対応評価に表れている。</p> <p>一方、施設案内は一層のわかりやすい対応が必要と考える。「迷路性」は利用する児童にとって楽しみの部分でもあるが、利用者が各年代に広いものであるため、特に初めて来た方にもわかりやすい館内案内の工夫を続けていただきたい。</p>
	利用者のサービスアップにつながる機能的な組織運営	9/9						
2 子ども体験事業	遊び・創作・科学体験事業他	9/9	16 点 (18 満点)	89%	A- (A-)	3	267 点	<p>区の要求水準を上回る回数プログラムを実施したこと、またこれまで課題であった継続性を意識した取り組みを複数の分野で発展させたことなど、遊び・創作・科学体験事業の内容は質・量とも向上しており、評価できる。特に内容がステップアップしていくようなプログラムは地域密着の科学館ならではのアプローチであり、区が運営する施設の強みを生かしたものだと言える。</p> <p>また、来館者のアンケート結果のほか、直接取り入れた利用者の声をもとに、ニーズの高い事業の回数を増やしたり、足立区民が平日昼間に利用できる事業回数を増やしたりするなど、区の内外の利用者のバランスを考えた取り組みがなされている点も評価できる。</p> <p>さらに、未就学児・親子向け事業を平日昼間に増やす、放課後開催で小学生の利用を見込むなど、時間帯の工夫がなされた。</p> <p>昨年度課題のあったシニア層のボランティアや学生ボランティアとネットワークを組み幅広いプログラムを実施するなど、ボランティア運営が定着している点は評価できる。持続性を持たせるために、連携のさらなる広がりや深さを期待したい。</p> <p>ひとり親家庭支援など、従来このような施設にアクセスが少なかった層にも対応したこと、事業を通して、子どもやボランティア、関係者の世代を超えた交流の場になっている点も高く評価できる。</p> <p>ギャラクシティはリニューアル当初より、足立区の子どもの様々な側面の成長を後押しする場であることを目指してきた。その役割を果たしつつあると考えられる。</p>
	開発事業・ふれあい交流事業	7/9						

平成29年度事業 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書

評価分野	評価項目	得点	評価分野合計	得点比率	評価(前年度)	得点調整指数※	調整得点	委員会からの意見
3 まるちたいけんドーム活用事業	まるちたいけんドーム活用事業	9/9	9点 (9満点)	100%	A+ (A+)	3	300点	<p>従来のプラネタリウムの枠を超えたマルチ体験ドームとして多様なプログラムを行うことで、子どもの様々な知的好奇心を満たしている点は評価できる。昨年度指摘のあった子どもの科学の入り口としての役割についても改善が進んでおり、研究施設との協力の元、宇宙に関する最新情報や旬な話題の提供を行うだけでなく、研究施設訪問や講演会といった深い知識を習得するための事業を展開した。</p> <p>さらに、大学生の作成したコンテンツ作品に子どもたちを参画させたり、大学生と共同でアウトリーチ活動を実施したことは、単に交流の場が創出されるだけでなく、子どもたちが自ずと学ぶことの意義を実感できる場にもなっていると評価できる。</p> <p>初年度から多くの利用者に来ていただいているが、リピーターにも飽きさせないようコンテンツを多様化することにより、平成29年度も前年度を上回る利用者数があり、良好な運営と利用者の満足度の高さがうかがえる。また、ドーム内に「こたつ」や「足湯」が利用できる席を設けるなど、様々な工夫を凝らしたイベントを催してきたことも評価できる。</p>
4 文化事業	豊かな文化芸術に触れる機会の提供	10/12	18点 (21満点)	86%	A- (B+)	2	172点	<p>区の要求する事業数より増やしてギャラクシティの特色に合わせた子ども向け事業を充実させたこと、昨年度よりもオリジナリティの高い企画を実施できたことにより、子どもたちが豊かな芸術に体験的に触れる機会を提供できた。</p> <p>また、子ども向けだが付き添いの大人も楽しめる事業も行い、世代や性別によらない多くの人を楽しめるような工夫もみられる。</p> <p>区内在住者によるコンサートの他、コンサートの舞台装飾花をテーマにしたフラワーアレンジメント講座などの新しい取り組みにより、区民が参加する文化事業の企画が様々な形で進んでいる。特に、落語ワークショップで体験した子どもたちが文化ホールで成果を発表すると同時に、舞台スタッフのワークショップ参加者が裏方として参画するなど、西新井文化ホールを区民で支えていくという意識の醸成にも繋がることから、評価できる。</p> <p>さらに、ターゲットを3層に分けて、あらゆる世代を対象にした鑑賞事業を提供できたことは評価できる。集客率も概ね良好で、区内における認知度アップにつながっていると考える。今後は、より鮮度の高い事業を期待する。</p> <p>一方でワークショップのいくつかで定員まで達しないものがあったのは残念である。区の広報とコラボし組み合わせてワークショップの宣伝をするなど、露出の機会を増やすような広報を早い段階から行うことが重要である。</p>
	区民との協働による文化活動の振興	8/9						

平成29年度事業 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書

評価分野	評価項目	得点	評価分野合計	得点比率	評価(前年度)	得点調整指数※	調整得点	委員会からの意見
5 広報事業	利用者のニーズにあわせた取り組みと提案書の遂行	5/6	5点 (6満点)	83%	A- (A-)	1	83点	<p>区内大型商業施設や企業との連携イベントを開催したことで、広域にわたり館のアピールができたことは、リニューアル後5年経過時点でも来館者数が増加している点から見ても、来館を呼びかけるという意味での広報は大きな成功を収めていると言える。終わったイベントの結果情報の発信も大切だが、これからのイベントの魅力発信にも力を入れて欲しい。また、現状の広報では行われなかったリアルタイム動画の配信を行ってほしい。来館していない方々に子どもの笑顔などの館内の様子を伝えるとともに、混雑状況も伝えられるので、積極的に配信していただきたい。</p> <p>一方、一般向けばかりでなく各年齢層にふさわしい媒体の利用や、区民向けの交通情報掲載、区内でも利用者の少ない地域に向けた情報発信など、きめ細かな広報活動が行われたかどうかは不明である。ギャラクシティへのアクセス手段や時間の情報や区民が平日昼間に利用できる事業回数を増やすなど、区民が利用できるコンテンツが増えているので、もっと区民向けのアピールをする必要がある。</p> <p>また、来館者増に伴う混雑への対応、そのことによる区民の利用控えをどう扱うかについては、一定の対応は見られるものの、大きな問題として残っている。「ギャラクシティは混んでいる」というイメージを払拭することが大切であり、適正な利用状況がどのようなものか、区と議論を進め、それに近づくような工夫と、それに対応する広報・利用促進策が望まれる。</p>

※得点調整指数については、足立区ギャラクシティ運営評価委員会において、「2 子ども体験事業」及び「3 まるちたいけんドーム事業」をメイン事業と位置付けて得点調整指数を高く設定し、「1 管理運営体制」及び「5 広報事業」については、メイン事業のバックアップ事業との位置付けから指数を「1」と設定しております。